

オオムギ縞萎縮病に対する抵抗性の品種間差異

富来 務・佐藤俊次・挟間 渉・加藤徳弘 (大分県農業技術センター)

Tsutomu TOMIKU, Shunji SATO, Wataru HASAMA and Tokuhiko KATO :
Varietal Resistance to the Yellow Mosaic of Barley

近年麦類の作付が増加するにつれて、萎縮病類の発生が多い傾向が伺われ、特に大分県では1981年以降、オオムギ縞萎縮病の発生がみとめられるようになり、大麦の作付上重要な問題となってきた。麦類萎縮病と品種との関係についてはすでに報告したので、今回は1981~'85年に行ったオオムギ縞萎縮病の発生と品種との関係について報告する。

1. 実験方法ならびに結果

5,000分の1 a ワグネル鉢に埴壤土を3kg あてつめ、さらに西国東部大田村小野の被害地から採取した病土を500g あて表面に接種し、1981年11月13日に各品種の種子を20粒あて播き、3区制として露地においた。以後この病土を、試験終了後につめかえて使用し、1982年は同

じく11月13日に、1983年は11月15日、1984年は11月12日に前同様に播種し、発芽後くみあい化成3号 (N 6 : P 9 : K 6) を2g あて追肥し、いずれも翌年4月に各鉢ごとに全個体の発病を調査した。結果は第1表のとおりである。なお大麦14品種の外に、比較参考用として、1984年播きつけ時に、ヒヨクコムギ、フクホコムギ、ジュンレイコムギの3品種を同時に播種した。

2. 総括

各年次により多少の変動はあるが、それぞれ各品種間の発病差から、多、中、少の3段階に分けてみると第2表のとおりである。発病の少なかったのは西海皮31号、イシュクシラズなどの6品種であったが、これらもきわめて程度は軽いが年によって発病が認められた。また今

第1表 オオムギ縞萎縮病に対する抵抗性の品種間差異 (3区平均)

供 試 品 種	1982. 4. 10			1983. 4. 6			1984. 4. 11			1985. 4. 19			平均発病個体率(%)
	調査個体数(本)	発病個体率(%)	発病程度	調査個体数(本)	発病個体率(%)	発病程度	調査個体数(本)	発病個体率(%)	発病程度	調査個体数(本)	発病個体率(%)	発病程度	
1.ダイセンゴールド, 皮麦(二条)	19.3	37.7	少	19.7	76.3	少	18.0	11.1	少	18.3	71.3	多	49.1
2.カワホナミ	20.0	18.3	少	19.0	50.9	少	19.7	28.6	少~中	19.0	84.2	多	45.5
3.西海皮31号	—	—	—	19.3	10.2	少	18.0	0	無	19.3	3.5	極少	4.6
4.イシュクシラズ	19.3	6.9	極少	18.3	29.3	少	16.7	0	無	18.0	8.4	極少	11.2
5.あまぎ二条	19.3	7.2	極少	18.0	16.6	少	18.0	14.8	少	18.3	25.3	少	16.0
6.あかぎ二条	19.7	17.1	少	19.0	44.1	少	19.7	37.4	少~中	19.7	91.4	多	47.5
7.成城17号	19.0	15.9	少	19.7	11.8	少	17.7	24.4	少	18.3	50.0	中~多	25.5
8.カワミズミ	—	—	—	19.7	13.6	少	19.0	10.6	少	19.0	24.6	少	16.3
9.アサマムギ, 皮麦(六条)	20.0	3.3	極少	19.3	1.7	極少	17.3	1.9	極少	18.7	3.7	極少	2.7
10.虎の尾埼1号	19.7	6.8	極少	17.3	2.0	極少	16.7	3.9	極少	19.0	5.6	極少	4.6
11.四国裸72号, 裸麦(二条)	19.7	6.8	極少	17.7	31.1	少	17.7	16.8	少	19.7	72.9	多	31.9
12.ベニハダカ, 裸麦(六条)	20.0	15.0	少	18.3	18.1	少	18.0	18.6	少	20.0	76.7	中~多	32.1
13.改良裸	12.0	18.7	少	10.0	42.5	少	10.3	12.8	少	19.0	19.2	少	23.3
14.赤神力	19.0	10.5	少	18.7	8.9	極少	18.7	21.2	少	19.0	50.6	少~中	22.8

注) 比較に用いた小麦3品種は全く発病を認めなかったため、表から省略した。

第2表 オオムギ縞萎縮病に対する抵抗性の品種間差異 (1982~1985)

種 別	発 病 多	中	少
皮麦(二条)	ダイセンゴールド カワホナミ あかぎ二条	成城17号	西海皮31号 イシュクシラズ あまぎ二条 カワミズミ
皮麦(六条)			アサマムギ 虎の尾埼1号
裸麦(二条)	四国裸72号		
裸麦(六条)	ベニハダカ	赤神力 改良裸	

回発病が比較的少なかったあまぎ二条も、本病の系統によってはかなり多発病することがあるものようであり、注意が必要である。裸麦の発病は一般に多く、皮麦にみられるような、特に発病の少ない品種は認められなかった。なお麦類萎縮病にきわめて弱い小麦3品種を比較参考のために用いたが、全く発病を認めなかった。